

鈴江家の淡路人形講演会



<鈴江家人形 / 岩手県立博物館所蔵>

会場 / もりおか町家物語館

浜藤ホール

開演 / 14時 (開場 / 13時30分)

入場無料

講演内容

(各講演時間約40分)

★14:00

趣旨説明 盛岡大学教授

鈴江家人形調査研究委員会委員長
日本古代文学・民俗学

大石 泰夫

★14:10

講演

盛岡大学准教授

日本近世・近現代史

上白石 実氏

「幕末維新期の鈴江家」

★14:50

講演

武蔵大学教授

祭礼文化史

福原 敏男氏

「盛岡八幡宮祭礼」

★15:30

講演

玉川大学教授

日本民俗学

八木橋 伸浩氏

「門付としての人形浄瑠璃」

2016年 12月 11日(日)

お問合せ

もりおか町家物語館

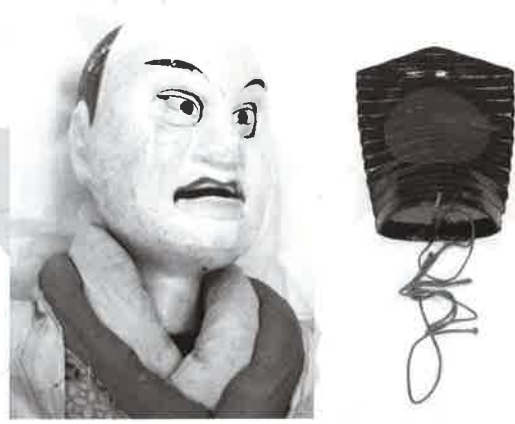
〒020-0827

岩手県盛岡市鉤屋町 10-8

☎019-654-2911 ✉machiya@iwate-arts.jp



千歳 (せんざい)



三番叟 (さんばそう)



戎 (えびす)



<鈴江家人形 / 岩手県立博物館所蔵>

鈴江家の淡路人形講演会

昭和六十二年、盛岡市鉦屋町の鈴江家にて、「淡路人形」が発見されました。この発見は、従来の定説を覆すものでした。いままでの淡路人形が伝わったとされる北限は、福島県だと考えられていたからです。

この「北限の淡路人形」は、江戸時代、南部二代藩主重直公のおり、淡路から伝わる極めて古い様式を備えた人形で、当時の操法は残されておらず、人形の痛みが激しいために、舞い踊ることが出来ません。

現在、「盛岡の人形浄瑠璃復活実行委員会」を立ち上げ、レプリカ作成や古文書の解析、北限の淡路人形芝居の再演や継承に向けた様々な取り組みを進めています。

今回の講演会では、二名の講師を招き、各分野の専門家による新たな見解を発表していただきます。



〒020-0827
岩手県盛岡市鉦屋町 10-8
☎019-654-2911
✉machiya@iwate-arts.jp

もりおか町家物語館